


I わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる

(1) 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の推進

1 新学習指導要領への確実な対応

学習指導要領の改訂を踏まえ、新しい千葉市版年間指導計画を作成するとともに、各学校に改訂の趣旨や内容を周知することにより、新学習指導要領に適切に対応していきます。

 達成指標	学習指導要領に基づく「千葉市版年間指導計画」の作成	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		移行期の指導計画作成	移行期における指導計画の作成	小学校指導計画の作成	27年度作成 (中学校は23年度作成)


(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
1	「千葉市版年間指導計画」の作成	知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを考慮した指導計画を作成し、「確かな学力」の育成を図ります。	456	平成23年度版小学校指導計画を作成する。	指導課
2	教育課程研究協議会等の実施	小・中学校、特別支援学校の教員を対象に、学習指導要領の基本的な考え方、理念、指導内容等、新しい教育課程の枠組みについての周知を図ります。	676	学習指導要領の基本的な考え方、理念、指導内容等を周知するとともに移行期における留意点の徹底を図るため、8月6日に小中学校ともに説明会を開催する。	指導課

1,132

2 確かな学力の育成に向けた「わかる授業」の推進

学校二学期制の下で、子どもたちに基礎・基本を確実に身に付けさせ、学力の向上を図るため、「わかる授業」の推進、確かな学力の育成に向けて、総合的な施策を推進します。

 達成指標	「学校の勉強が好きだ」と肯定的に回答する児童生徒の割合(上段:小学5年、下段:中学2年)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		69% 38%	70% 40%	74% 45%	76% 46%

(千円)

22「I わかる授業」

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画（案）	推進担当課
3	学力状況調査の実施と活用	全国学力・学習状況調査や本市独自の学力状況調査を通して、児童生徒の学習状況を把握し、学習指導上の問題点や改善点を明らかにし、「わかる授業」を推進します。	0	全国学力・学習状況調査における抽出校の結果を分析し、本市児童生徒の学習状況を把握する上での参考にする。その内容については、平成21年度千葉市児童生徒意識調査とあわせて、教育課程説明会、教科主任会、計画訪問等で活用し、「わかる授業」推進のための授業改善に生かす。	指導課
4	指導指針「21世紀を拓く」の作成と活用	学校経営や各教科等の指導について、今日的な教育課題の観点から本市学校教育の課題を示し、「わかる授業」等の推進を図ります。	419	新学習指導要領完全実施に向けた本市学校教育の課題と方策を明らかにする。	指導課
5	少人数学習指導教員の配置	小学校1年生から3年生に対し、学習の基礎・基本の確実な定着に向けたきめ細かな指導を行うため、少人数学習指導教員を配置するとともに、より効果的な配置のあり方について検討を進めます。	63,425	小学校に40人の非常勤講師を配置する。	教職員課
6	学習支援員（フレンドリーチューター）の配置	教員志望の大学生等を学習支援員として学校に配置し、児童生徒個々に応じたきめ細かい指導や支援を行い、確かな学力の育成を図ります。	0	（「子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業」へ事業統合）	指導課
7	学校訪問指導の実施	学校訪問を通して学校教育の課題を踏まえ、「わかる授業」づくりの一層の推進を図るための指導助言を行います。	455	計画訪問（小20校、中10校）を実施し、各学校の課題に即した改善を行えるよう、各教科の授業を通して指導・助言を行う。	指導課

64,299

3 国語力の向上

「読む」「書く」「聞く」「話す」といった言語活動の充実を図り、学びの基礎となる「考える力」や「感じる力」「想像する力」「表す力」をより一層伸ばします。

達成指標	児童生徒の月平均読書冊数（再掲Ⅱ－(5)－16） 一人あたり2週間の （上段：小学生、下段：中学生）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		20.1冊10冊 8.3冊4冊	20.5冊13冊 8.5冊6冊	20.5冊13冊 8.5冊7冊	21.0冊15冊 9.0冊8冊

達成指標	一週間にどのくらい読書をするかに対して「読まない」と回答する児童生徒の割合（再掲Ⅱ-(5)-16） （上段：小学生、下段：中学生）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		17.5% 16.3%	16.0% 15.0%	15.0% 14.0%	10.0% 10.0%

(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画（案）	推進担当課
8	学校図書館指導員による読書活動の充実推進（再掲➡52）				
9	学校図書館図書の実践（再掲➡53）				
10	朝読書の推進（再掲➡54）				
11	文集・詩集「ともしび」、読書感想文集「本だな」の発行（再掲➡16）				

4 理数教育の充実（「理科、算数・数学好き」児童生徒の育成）

児童生徒の科学的な見方や考え方の基礎を養い、科学技術の進歩に対応した理数教育を推進するため、自然事象や科学、算数・数学への興味・関心を高める理数科授業の一層の充実を図ります。

達成指標	「理科の勉強が好き」と肯定的に回答する児童生徒の割合 （上段：小学5年、中学2年）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		*86.6% *64.0%	*87.0% 87% *64.0% 45%	*88.0% 88% *64.0% 64%	*90.0% *70.0%

達成指標	「算数・数学の勉強が好き」と肯定的に回答する児童生徒の割合 （上段：小学5年、中学2年）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		*71% *53%	*71% 70% *53% 56%	*71% *53% 57%	*75% *60%

達成指標	科学館を授業の一環で利用する市内小学校の割合 （再掲Ⅰ-(2)-7）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		88.3%	90%	92%	100%

22「I わかる授業」
(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
12	理科支援員等の配置	小学校5・6年生の理科学習における観察・実験活動などを充実するため、理科支援員等を配置します。 大学生や教員経験者などの理科支援員や特別講師が、観察・実験の準備、授業の支援のほか、学習環境の整備や教材開発などの支援を行います。	14,748	これまで配置されることがない学校を中心に、理科支援員を配置し、市全体の理科学習の向上や児童の科学に対する興味・関心を高める。	指導課
13	小・中学校理科センターによる理科教育の振興	児童生徒の科学研究を推進するため、実験会・観察会の実施や備品の貸し出し等を行い、小・中学校の理科教育振興を図ります。	小 354 中 54	・7月に「児童実験会」「生徒学習会」を各理科教育センター校で、また「理科研究相談会」を千葉市科学館で実施する。 ・8月に「植物観察会」を県立博物館で、「天文学習会」を千葉市科学館で、「生徒実験会」を理科センター校で実施する。	指導課
14	理数教育の充実 (再掲⇒120)				
15	科学館を活用した授業の展開 (再掲⇒21)				

15,156

(2) 学びを深め、広げる教育の推進

5 児童生徒による学習成果発表の充実

児童生徒による日常学習成果の発表を通して、制作意欲の向上を図るとともに、進んで自己表現する力をはぐくみ、伸ばします。

達成指標	「絵を描く会」「総合展」への参加校	現状	平成21年度	目標値
		全小・中・特別支援学校による参加	➡	

(指導課)

22「Iわかる授業」
(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
16	絵を描く会の開催	絵画の制作を通して、主体的に自己の表現力を高めるとともに、お互いの作品の良さを認め、共感し合える児童生徒の育成を推進します。	82	図工美術における絵画学習の成果を発表する場を設けることにより表現力の育成を図る。優れた作品には賞状を与え表彰する。	指導課
	総合展の開催	各教科(科学・図画工作・美術・家庭・技術家庭・書写・特別支援教育)における日常の学習成果の発表を通して、学習への興味・関心と技能をより一層高めます。	978	児童生徒の教科学習の成果を発表する場を設けることにより、思考力や表現力の育成を図る。科学部門を9月中旬に千葉市科学館で開催し、その他の部門を、1月下旬に美術館・科学館で開催する予定である。	指導課
	英語発表会の開催	日常の英語学習の成果を発表する場を設け、相互に学ばせるとともに、英語学習への意欲・関心・態度を高めます。	168	9月3日に、市立中学校など、60校の生徒を対象に、2会場で実施し、相互の学びあいの場とする。	指導課
	音楽発表会の開催	授業で取り組んだ音楽演奏の発表、相互の鑑賞を通して、豊かな情操をはぐくむとともに、音楽表現技能の向上を図ります。	1,975	6月に小学校音楽発表会を、10月に中学校音楽発表会を開催し、授業で取り組んだ音楽演奏の発表、相互の鑑賞を通して、豊かな情操をはぐくむとともに、音楽表現技能の向上を図る。	指導課
	文集・詩集「ともしび」、読書感想文集「本だな」の発行	児童生徒が応募した作文や詩を編集した文集・詩集や読書感想文集を発行し、国語の表現力の向上を図ります。	142	児童生徒の作文や詩を編集した文集・詩集「ともしび」57号や読書感想文集「本だな」47号を発行し、国語の表現力の向上を図る。	指導課

3,345

6 情報教育の充実・推進

情報教育機器等の活用を通して、子どもたちの情報活用能力の育成を図ります。

達成指標	各中学校区の情報教育ボランティア等の配置率	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		—	9%	—18% 9%	50%

達成指標	各学校の学校C I O育成率	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		—	—	17%	100%

達成指標	学習コンテンツを利用する学校の割合	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		35%	50%	65%	100%


達成指標	千葉市独自の情報モラル教育カリキュラムを実践した学校の割合	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		—	10%	100%	100%

(千円)					
No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
17	情報教育支援員の配置	各中学校区に情報教育支援ボランティア等の配置を進め、情報教育推進のための技術支援や授業支援に努めます。	11,364	情報教育支援員5名を4月より年間配備し、各学校からの要請に対応する。また、情報システムの拡充に伴う増員の多面予算要望を行う(2名)。	教育センター
18	学校CIOの育成	教育の情報化を進めるための統括責任者としての学校CIOを、各学校に育成します。また、教育センターには、教育CIOの資格を持つ情報教育支援員を配置します。	0	教育の情報化についての検討委員会を設置し、研修会の内容と位置付けについて検討を進め、管理職等対象の研修会の中で実施する。	教育センター
19	学習コンテンツの開発と活用	学校の情報化を推進するため、地域の特性を生かした各教科等の学習コンテンツを開発します。	3,569	学習コンテンツの各学校での活用を促す。	教育センター
20	情報モラル教育の推進	情報モラル教育カリキュラム(カリキュラム・情報モラルコンテンツ・指導教材・実践事例等)を作成し、すべての小・中学校においてインターネットや携帯電話による人権の侵害に関する指導等を実施するとともに、情報リテラシーの定着に向けた取り組みを進めます。	0	作成した情報モラル教育カリキュラムにより、各学校での活用を促す。	教育センター

14,933

7 科学館・図書館・博物館等の活用

学びへの動機付けと幅広い知識の取得に向け、科学館や図書館、博物館、美術館、埋蔵文化財センター等を活用したさまざまな授業展開を進めます。


 達成指標	科学館を授業の一環で利用する市内小学校の割合	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		88.3%	90%	92%	100%

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算 (千円)	22年度の行動計画(案)	推進担当課
21	科学館を活用した授業の展開	理数教育の一環として「科学館学習」を位置付け、展示を利用した学習や科学実験室を活用した学習、プラネタリウムを利用した学習を組み合わせ、日ごろ学校では体験することができない科学実験や実演を行います。	指定管理者と協議中	<p>「団体利用の手引」に基づき、学校担当者への科学館利用説明会を実施し、事前学習キット「ちばこ」の貸出を行い、利用促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート学習（小・中学生対象のワークシートを用意し、展示を利用した学習を実施する。） ・天文学習（児童・生徒の興味・理解度に合わせ、学校の先生と事前に打ち合わせてプログラムを選択し、プラネタリウムで実施する。） ・実験工作学習（学校団体向け実験工作プログラムを順次追加開発し実施する。） 	生涯学習振興課
			○	<p>プラネタリウムを活用した天体学習や科学実験を取り入れた特別授業を、学校の実情に応じて随時計画し、実践する。</p>	指導課
22	図書館の活用推進	自ら学び、知識の取得ができるように、調べ学習の支援や各種事業を行うとともに、図書館資料の充実に努めます。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習等に要する資料を収集・提供する。 ・子どものホームページに調べ学習事例等を掲載し、調べ学習の支援に努める。 ・レファレンスサービスの充実に努める。 	中央図書館
23	博物館・美術館・埋蔵文化財調査センター等との連携	加曽利貝塚博物館や郷土博物館では、子どもたちが実物を見たり触れたりすることを通じて、地域の歴史や昔の人の知恵に興味を持つ動機付けを行います。また、美術館と連携し、子どもたちが優れた美術品を鑑賞したり、美術館等で職場体験を行ったりする機会を提供します。	○	各館で行う行事等に協力して事業を行う。	生涯学習振興課

0

8 学校図書館機能の整備・充実

学校図書館における図書検索システムや図書館図書閲覧システムの整備・充実等により、調べ活動や読書活動のさらなる充実を図ります。

 達成指標	団体貸出用資料の貸出冊数 (学校専用貸出及び団体用貸出の計) (再掲)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		16,000冊	17,000冊 19,606冊	18,000冊 20,000冊	20,000冊 23,000冊

No.	アクションプラン名	事業内容	(千円)		推進担当課
			22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	
24	学校図書館情報ネットワークシステムの整備推進	学校図書館資料のデータベース化とコンピュータ機器の整備を推進するとともに、コンピュータネットワークを整備し、学校間、学校と図書館とのネットワーク化を推進します。	0	関係課と調整を図りながら、具体的な実施方法について検討・協議する。	指導課
			0	関係課と調整を図りながら、具体的な実施方法について検討・協議する。	教育センター
			0	指導課、教育センターと調整を図りながら、学校図書館の支援に努める。	中央図書館
25	図書館図書の団体貸出の推進(再掲→55)				

0

(千円)

98,865

実施事業

18

調査・調整

0